

# がん対策について

日本人の死亡原因の第1位は悪性新生物、いわゆるがんであり、平成16年度には32万人もの尊い命が奪われています。本県においても例外ではなく、昭和56年以降、死亡原因の第1位であり、平成16年のがん死亡者数は4,579人(男性2,758人、女性1,821人)にのぼっています。また、その人口10万人当たりの粗死亡率は、全国第5位と高い水準であり、県民の健康にとって重大な問題だといえます。

さて、現在生きている私たち誰もが、まったくがんにかからないようにすることは無理としても、日常の生活の中で良い生活習慣に取り組むことによつて、ある程度がんの予防が可能だとされています。バランスのとれた食事、適度な心地よい運動、禁煙など、少しでもがんの原因を遠ざける明るく健康な

な自分の生活スタイルをも一度考えてみませんか。また、万が一がんにかかったとしても、早期に発見できれば、多くの適切な治療方法が選択でき、治癒することも可能です。がんの早期発見のためには、がん検診等を定期的に受診することが非常に重要です。「がん検診受診率の向上」は、健康やまぐち21の重点目標の一つにも掲げられています。

県では、これまでも、がん予防やがん検診に関する普及啓発、がん検診の精度管理、がん診療施設・設備の整備、緩和ケア病棟の整備、がん登録事業など、様々ながん対策を講じてきましたが、本年度から、がん対策を重点施策に位置づけ、取組を強化しています。さらに、本年6月、国会で「がん対策基本法」が成立したことから、その趣旨も踏まえつつ、がん対策をこれからも層進進していきます。

## 【県のがん対策推進事業について】

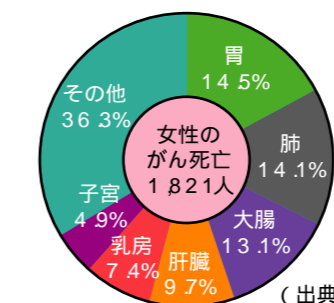
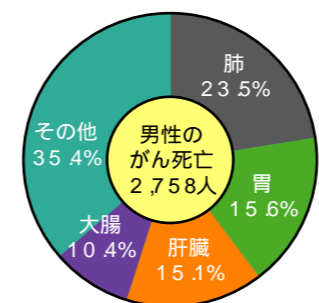
- たばこ対策の強化推進
  - がん検診受診率向上のための普及啓発
    - 「女性のがん」に対する取組の強化
  - がん検診体制の整備充実、人材育成
    - マンモグラフィ検診機器の整備
    - マンモグラフィ検診従事者の養成
    - 医療従事者を対象とした肝炎研修の実施
- がん診療連携拠点病院を核とした医療水準の向上
  - 地域がん診療連携拠点病院の整備
  - 地域内の医療機関の連携体制の構築
- がんに関する相談窓口の整備
  - 治療方法の相談や家族への支援
- がん登録の推進
  - がん情報の分析、データベース化の向上
- 健康やまぐち21「がん対策分科会」の設置
- 肝炎診療協議会の設置

## 「山口県」のがんの現状

山口県における平成16年のがん死亡者数は4,579人で、増加傾向にあります。これを部位別にみると、肺、胃、肝臓、大腸が上位を占めています。

### 主な部位別のがん死亡状況(平成16年)

	肺	胃	肝臓	大腸	乳房	子宮	その他	全がん
死亡数(人)	903	695	593	527	134	90	1,637	4,579
男	647	431	416	288			976	2,758
女	256	264	177	239	134	90	661	1,821

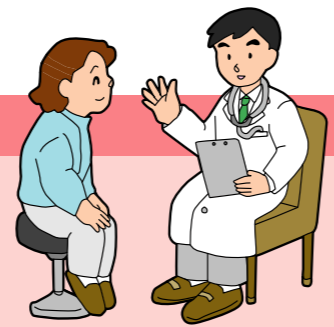


(出典:人口動態調査 厚生労働省)

## 「がん対策基本法」が成立しました

平成18年6月14日に、どこでも質の高い適切ながん医療が受けられる体制の整備や、患者への情報提供の充実などを基本理念として、がん対策を総合的かつ計画的に推進するために「がん対策基本法」が国会で成立しました。

- 1 計画の策定
  - (1)国は、がん対策を総合的に推進するため、「がん対策推進協議会」を設置し、「がん対策推進基本計画」を策定。その計画には、具体的目標と達成時期を規定し、達成状況調査と結果を公表。
  - (2)地方公共団体は、地域の実情に応じた「都道府県がん対策推進計画」を策定して推進。
- 2 国や県が講ずる基本的施策
  - (1)がんの予防及び早期発見の推進
    - 普及啓発、がん検診の質の向上 等
  - (2)がん医療の均てん化の促進
    - 医療従事者の育成、医療機能の整備、療養生活の質の維持向上、がん情報の収集と提供体制の整備 等
  - (3)がん研究の推進
    - 革新的な治療方法の開発、医薬品治験の環境整備 等
- 3 施行年月日
  - 平成19年4月1日



## 「女性のがん」について普及啓発を行っています

平成16年4月に改正された厚生労働省によるがん検診の指針によると

- 子宮がん検診は・・・  
20歳以上の女性に、2年に1回 問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診
- 乳がん検診は・・・  
40歳以上の女性に、2年に1回 問診、視診、触診、乳房エックス線検査(マンモグラフィ検査)とされています。

いずれの検査も、実施主体である市町によって検診の時期、方法(集団検診か個別検診か)などが異なりますので、お住まいの保健センターにお問い合わせ下さい。  
今年の検診はもうすみましたか?親子一緒にあるいはお友達同士で受診してみませんか?

## 「女性のがん講演会」のご案内

日時 平成18年10月22日(日)13:30~16:00  
会場 山口県国際総合センター 海峡メッセ下関  
内容 講演(タレント 泉 アキさん)  
ミニシンポジウム  
座長 徳山中央病院 伊東 武久 医師  
講師 下関厚生病院 江上 哲弘 医師  
藤野産婦人科医院 田村 晴代 医師



主催 山口県 共催 下関市  
お問い合わせ先  
山口県健康増進課 TEL(083)933-2943

## 「女性のがん出前講座」を開催しました

と最新情報、そして、検診の重要性についてもわかりやすくお話しいただきました。講座の終了後、当日参加した学生さんたちからは、「自分にも無関係ではないんだなあ」と改めて実感した。「母がちょうど50歳。検診を受けているか聞いたり、資料を見せたりしたいと思った。」等の声がありました。話を聞いた人から、お友達や家族へと話が伝わって、検診仲間が増えるといえます。



乳がんや子宮がんなど女性のがんを早期に見・治療するためのがん検診の重要性を理解してもらおうと、6月19日(月)に、山口県立大学において学生さんの講義終了後の午後6時から、開催しました。講師は、山口県立総合医療センター産婦人科の讚井裕美医師と県立大学長の江里健輔医師のお二人。子宮がんと乳がんについての正しい知識



このコーナーでは、「健康やまぐち21計画」で進める11の分野の健康づくりについて、一つずつご紹介していきます。